

# 愛・知・和

21世紀を担う調和のとれた人間教育

## 「できることを数えよう～車いすバスケットボール体験を通して～」

### ●講師

**高橋剛志・永易雄・生方亮馬・清水健悟先生**

それぞれ車いすバスケットボール・車いすラグビー・パラパワーリフティングの選手などとして活躍されています。

### ●講演内容

障がい者アスリートの方4名に車いすバスケットボールや車いすラグビーのルールなどを説明して頂きました。周りの人と競技用車いすと生活用車いすの違いについて話し合い、私たちが知らなかった様々なことを学びました。

また全員が車いすに乗ってリレーをしたり、代表の生徒が車いすバスケットボールを体験するなどして、車いすの扱い方を学ぶことができました。自分たちはどのようにして車いすの方を補助すればよいかを考えることができました。

後半では講師の方ごとに少人数のグループに分かれ、よりじっくりと話を聞くことができました。講師の方から車いすの方の為にしてほしいことを伝えられ、自分がどうすればよいかを主体的に考えることができました。

最後は、「できないことを数えるよりもできることを数えよう」という言葉を皆で声に出して言い、締めくくられました。



## 講演感想文



○車いすでの生活は不便そうだなと思いましたが、車いすで生活している人達はできそうなことでも、工夫をして出来るようにしているということがわかりました。私もできないからと言ってすぐに諦めないようにしたいです。

○確かに出来ないことばかり数えていては、出来ることも見つけることは出来ないと思います。それにどんなことでもやろうと思えば出来ることもあると思うので、どんなことにも一度はチャレンジしてみようと思うようになりました。

○体が不自由になってもスポーツを諦めなかったという話を聞いて、私も何事も諦めずに挑戦していきたいと思いました。

(中学1年 生活委員)